



2006年3月期
決算説明会資料

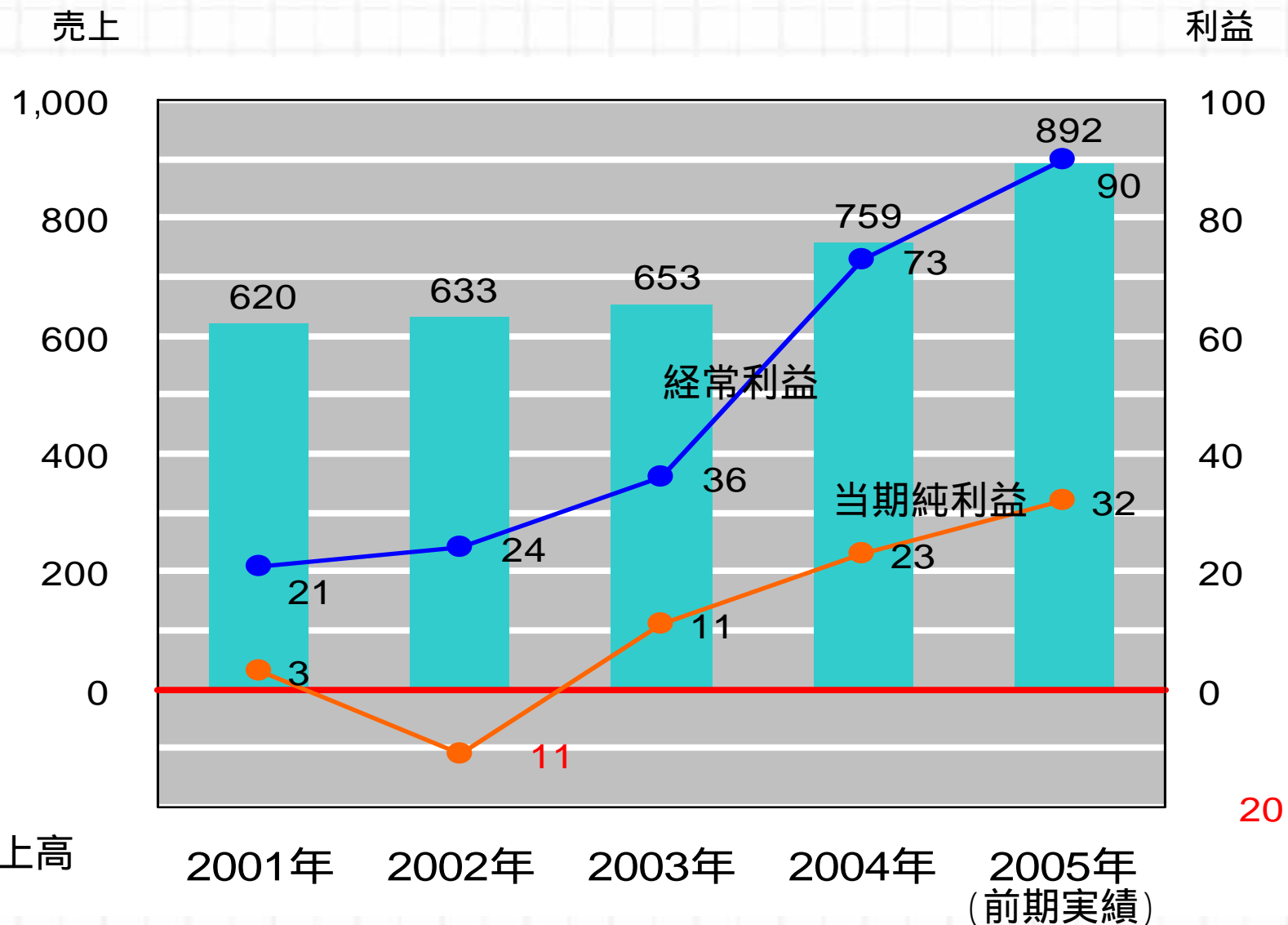
2006年5月19日(金)

ローランド株式会社

前期(2006年3月期)連結決算 および事業別概要

連結決算

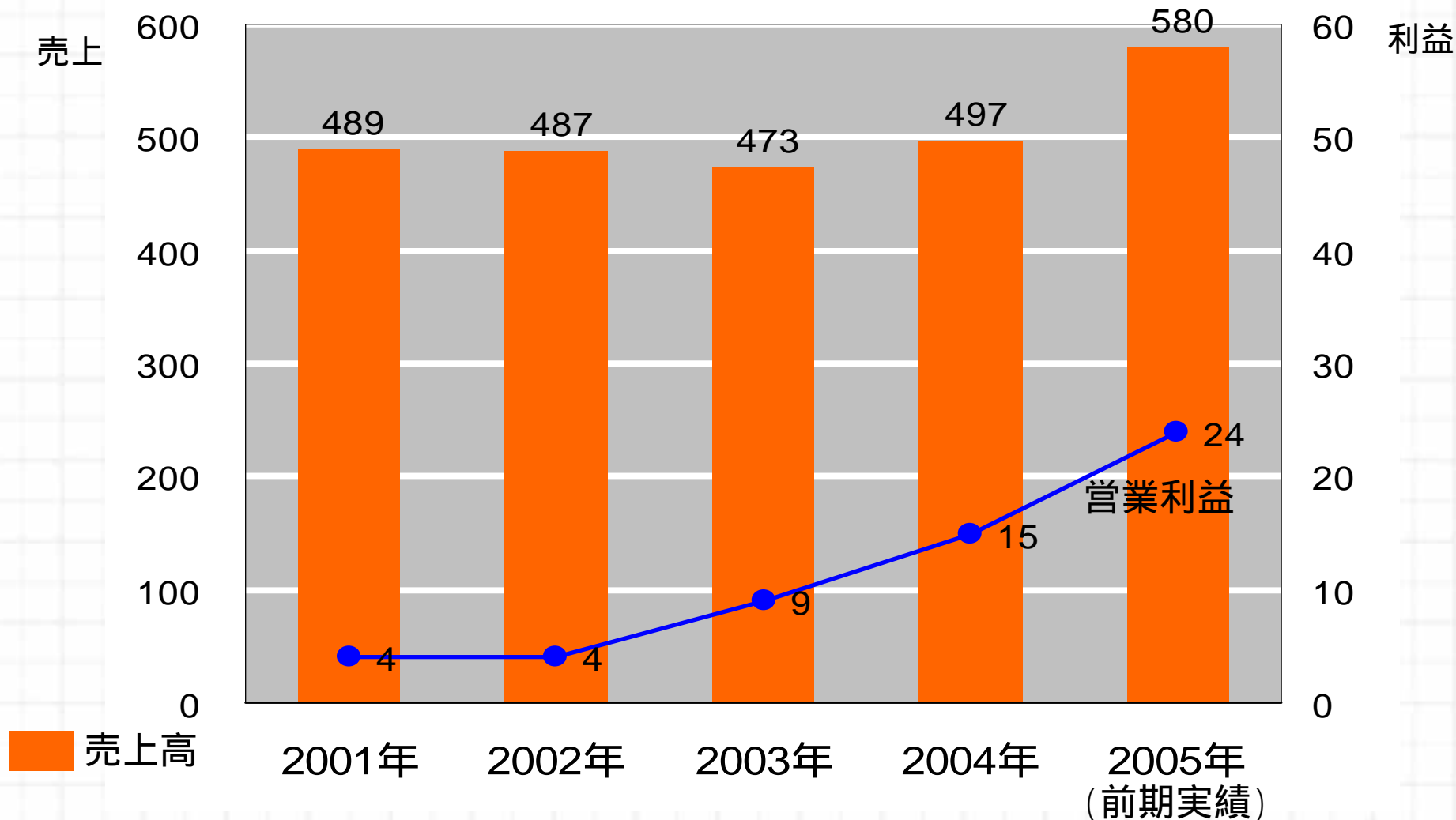
(単位: 億円)



電子楽器事業

(単位:億円)

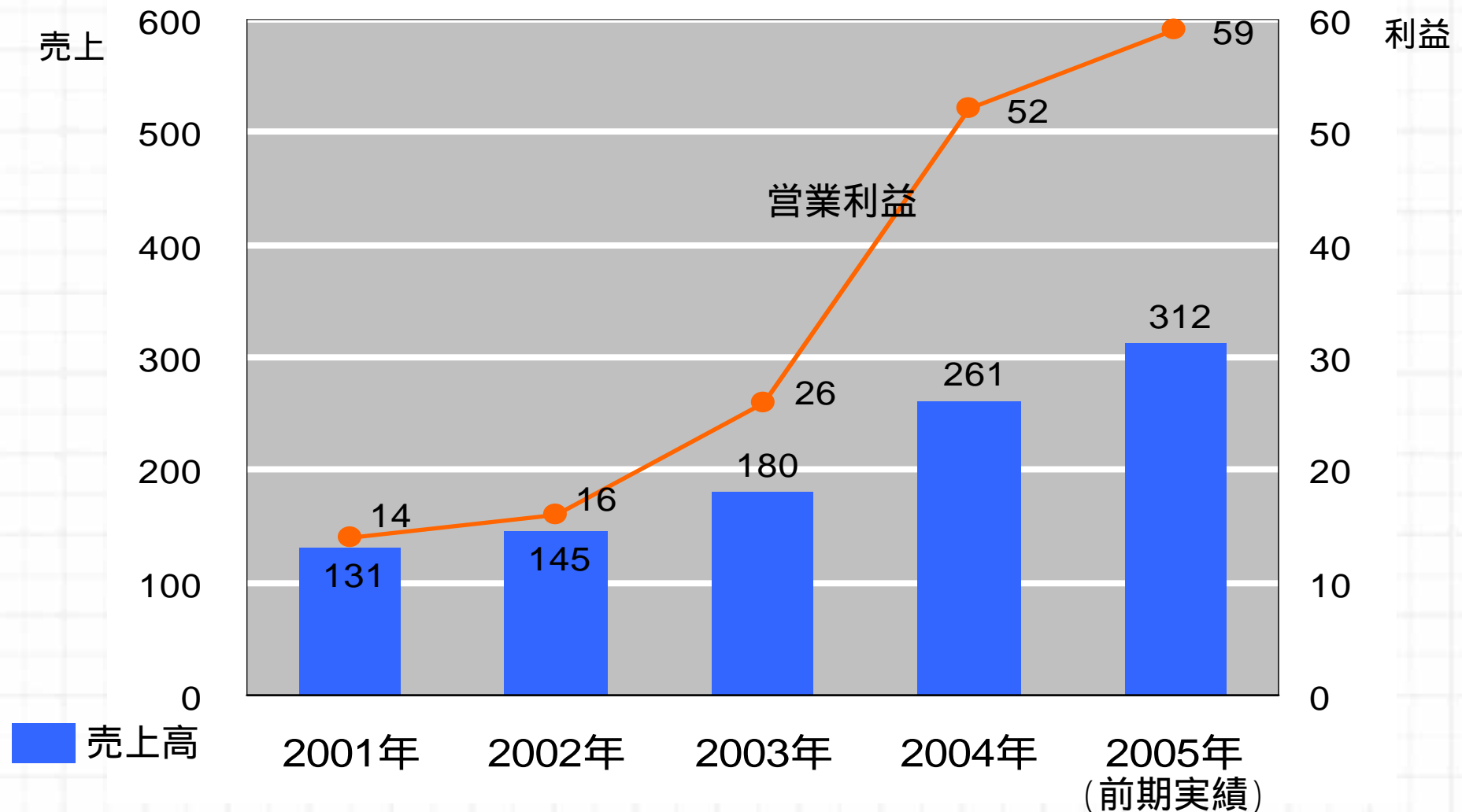
電子ドラム、シンセサイザー、コンピュータ・ミュージック関連機器が欧米で好調に推移



コンピュータ周辺機器事業

(単位:億円)

業務用大型カラープリンターを中心に欧米で好調に推移



中長期的な会社の経営戦略と 対処すべき課題

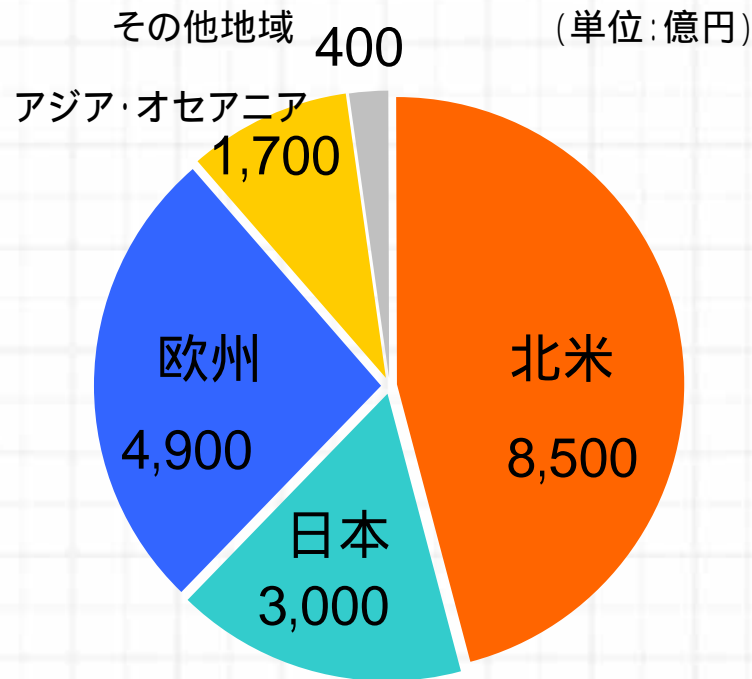
電子樂器事業

市場規模

市場規模は安定推移

潜在需要もあり今後も安定的に推移する見込

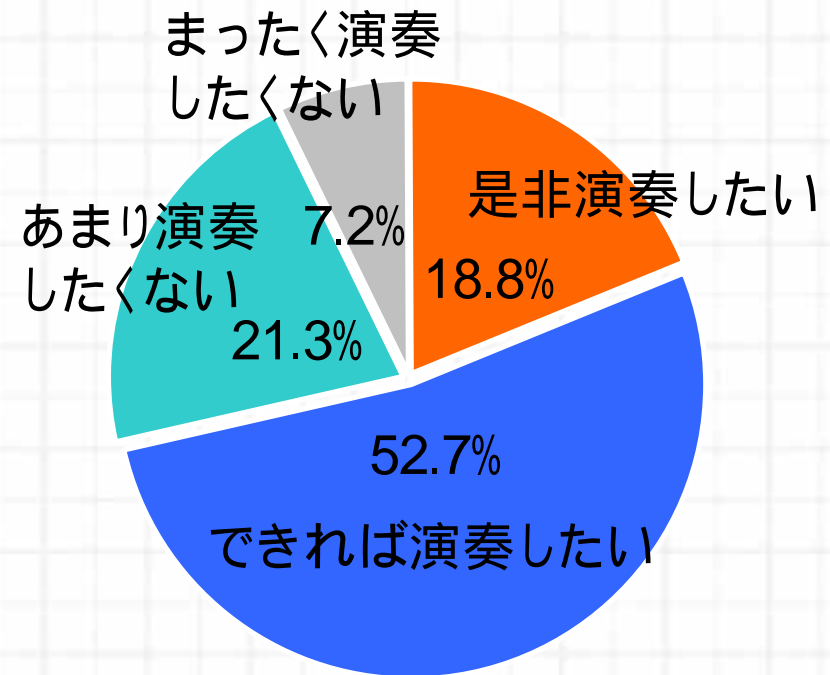
市場規模



全体 1兆8500億円 (2004年)

当社推定・小売金額ベース
(中古楽器、教室収入、音響機器含む)

潜在需要

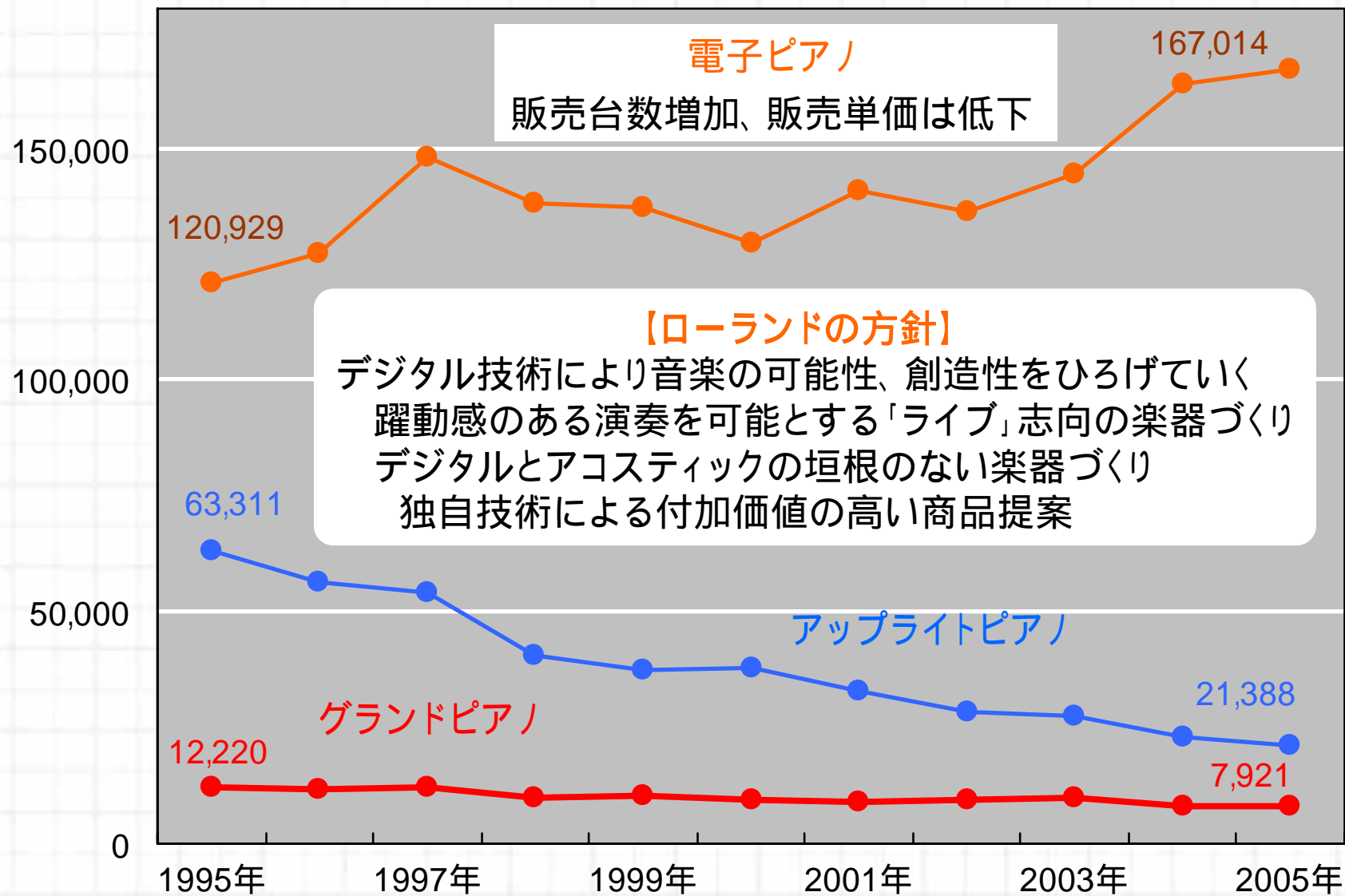


楽器にチャレンジしたい人(日本)

(株)インフォプラント調べ

国内ピアノ販売台数推移

(単位:台)



電子ピアノ
販売台数増加、販売単価は低下

【ローランドの方針】
デジタル技術により音楽の可能性、創造性をひろげていく
躍動感のある演奏を可能とする「ライブ」志向の楽器づくり
デジタルとアコースティックの垣根のない楽器づくり
独自技術による付加価値の高い商品提案

全国楽器製造組合統計より

多様化する価値観への対応

REALTIME



各商品分野ごとにNo.1商品を創り育てる
商品の市場価値を30%UPする

301 PROJECT

常に新たな提案型商品の開発を
追及する、ローランド・グループ
全体で推進してきた核となる活動



顧客ニーズの多様化

顧客それぞれの満足度を高めるには、
より柔軟で迅速な対応が必要



301 PROJECTの刷新

開発だけでなく、生産、販売、流通を
含めたトータルでの付加価値拡大を
目指す

新規分野の開拓

映像関連機器

音と映像が高度に融合する新たな創造の可能性



業務用、設備用需要へのアプローチ

業務用音響機器の新ブランド「RSS」とともに「音と映像のシステムソリューション」提案



新規分野の開拓



アコーディオンの豊かな魅力とデジタル技術が融合
中型軽量モデル、ボタン式モデルを加え、
ラインアップ拡充



FR-7b



FR-3s

R-09 24bit WAVE/MP3 Recorder

CDを超える高音質で、手軽にデジタル録音が行える
コンパクトなWAVE / MP3レコーダー



積極的な新製品投入

SH-201 Synthesizer



V-Tour Series TD-6KW-S



V-Compact Series TD-3KW-S



VP-550 Vocal & Ensemble Keyboard



JUNO-G 128 Voice Expandable Synthesizer with Audio/MIDI Song Recorder



HANDSONIC 10

国内事業の拡充



Roland Planet

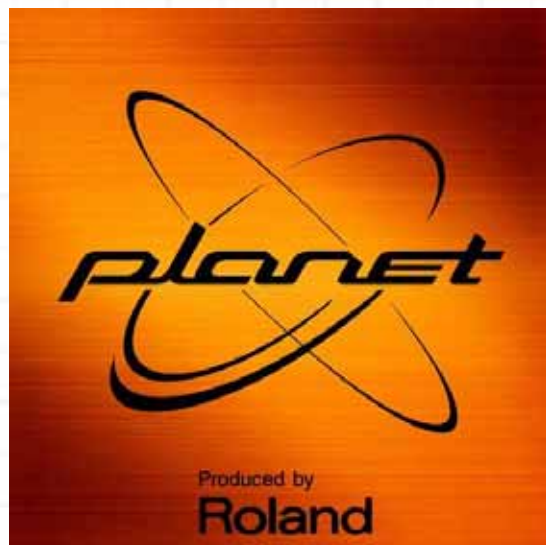
販売店様との提携によるRoland商品専門の販売スペース
イギリスの販売子会社で開発したインショップ展開
充実した商品展示
専任販売員による接客

日本のPlanet展開

2004年11月に第1号店を開設、現在10店舗(2006年3月末現在)
シンセサイザー、電子ドラムなどの電子楽器、コンピュータ・ミュージック
関連商品を中心に、販売拡大に貢献



CKプラネット



<p>SCENE こんなシーンにデジタルピアノ。 ライフスタイルに合わせた演奏が楽しめます。</p>	<p>Lesson 0 レッスンに活躍する デジタルピアノを選ぼう</p>	<p>Lesson 1 譜読みの力をつけよう</p>
<p>Lesson 2 お部屋にぴったりの ピアノをさがそう</p>	<p>Lesson 3 譜読みの力をつけよう(2)</p>	<p>Lesson 4 とにかく1曲! 憧れの曲を弾こう</p>
<p>Lesson 5 テンポ感を身につけよう</p>	<p>Lesson 6 レッスンの待ち時間も 楽しんじゃおう</p>	<p>Lesson 7 ママとわたし、 ならんで弾いてみよう</p>
<p>Lesson 8 友達の結婚式で曲を プレゼントしよう</p>	<p>Lesson 9 弾きたい曲の 伴奏データを作ろう</p>	

CK Planet (仮称)

ピアノなど家庭用電子楽器を中心とした
新たなPlanet展開を当期開始予定

- Planetの基本コンセプトは変わらず
- 高付加価値商品を中心に展開
- 音楽教室事業との連携

お客様に楽器のあるライフスタイルをご提案



CK (Contemporary Keyboard) = ピアノ、オルガン等の家庭用電子楽器を指すRolandの商品カテゴリー

啓蒙活動の推進・企業広告

【企業広告】



【コンサート、コンテスト、フェスティバルの開催】



市場状況

安定した規模で推移
潜在需要もあり今後も安定的



継続的な啓蒙活動の必要性

楽器潜在需要の掘り起こし
電子楽器のステータスアップ
ブランド訴求

【北米の若年層向ユーザー・イベント】



コンピュータ周辺機器事業

 **Roland**

ローランド ディー.ジー.株式会社

DVE

Digital Value Engineering

ともに価値あるものづくりを

【市場の変化とニーズ】

オンデマンド

デジタル化

高付加価値

多品種少量

スピード

社会の変化に対応し、
プロセスの変革を通して、
新たな付加価値を創造する

デジタル
ソリューション

ワークフローを革新する
デジタル周辺機器を提供

カラー&3Dに経営資源集中



ADVANCED JET

ROLAND GRAND FORMAT PRINTER **AJ-1000**

高濃度&高速出力で大型屋外パナーに最適なグランドフォーマットプリンター



METAZA

● METAL PRINTER ●

金属やアクリルを打刻して写真やイラストを表現できるメタル・プリンター



3D PLOTTER **MODELA**

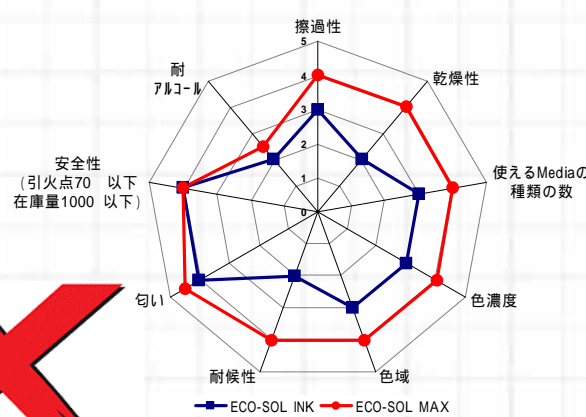
MDX-40

優れた切削性能・操作性と低価格を両立した、樹脂切削専用機



- 耐擦過性 & 速乾力
- 対応メディア150種以上
- 高発色 & 高濃度
- 低コストで収益力アップ
- ニオイ激減、エコ度アップ

従来ECO-SOLインクとの性能比較



新たな成長を支える事業インフラ整備



Europe

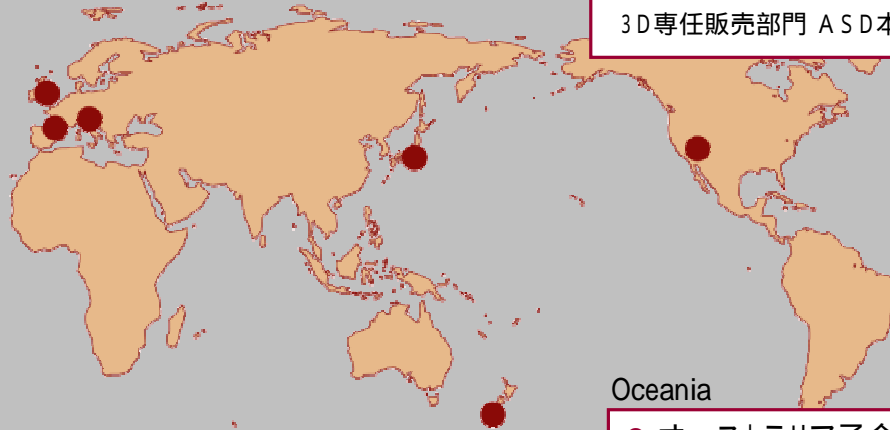
- 英国子会社移転
本社移転、ショールーム整備
販売人員増強

- スペイン子会社 設立

- ドイツ駐在員事務所
欧州エリア 市場調査開始

Japan

- 国内3D営業部 新設
- RDGアカデミー 新設



North-America

- 米国子会社
販売人員増強、組織固め
3D専任販売部門 ASD本格稼働

Oceania

- オーストラリア子会社
ニュージーランド販社 統合

デジタルファクトリー建設 生産体制の強化



都田事業所

生産規模の拡大

約240億円 → 約400億円

受注量の増減に柔軟に対応

デジタル屋台

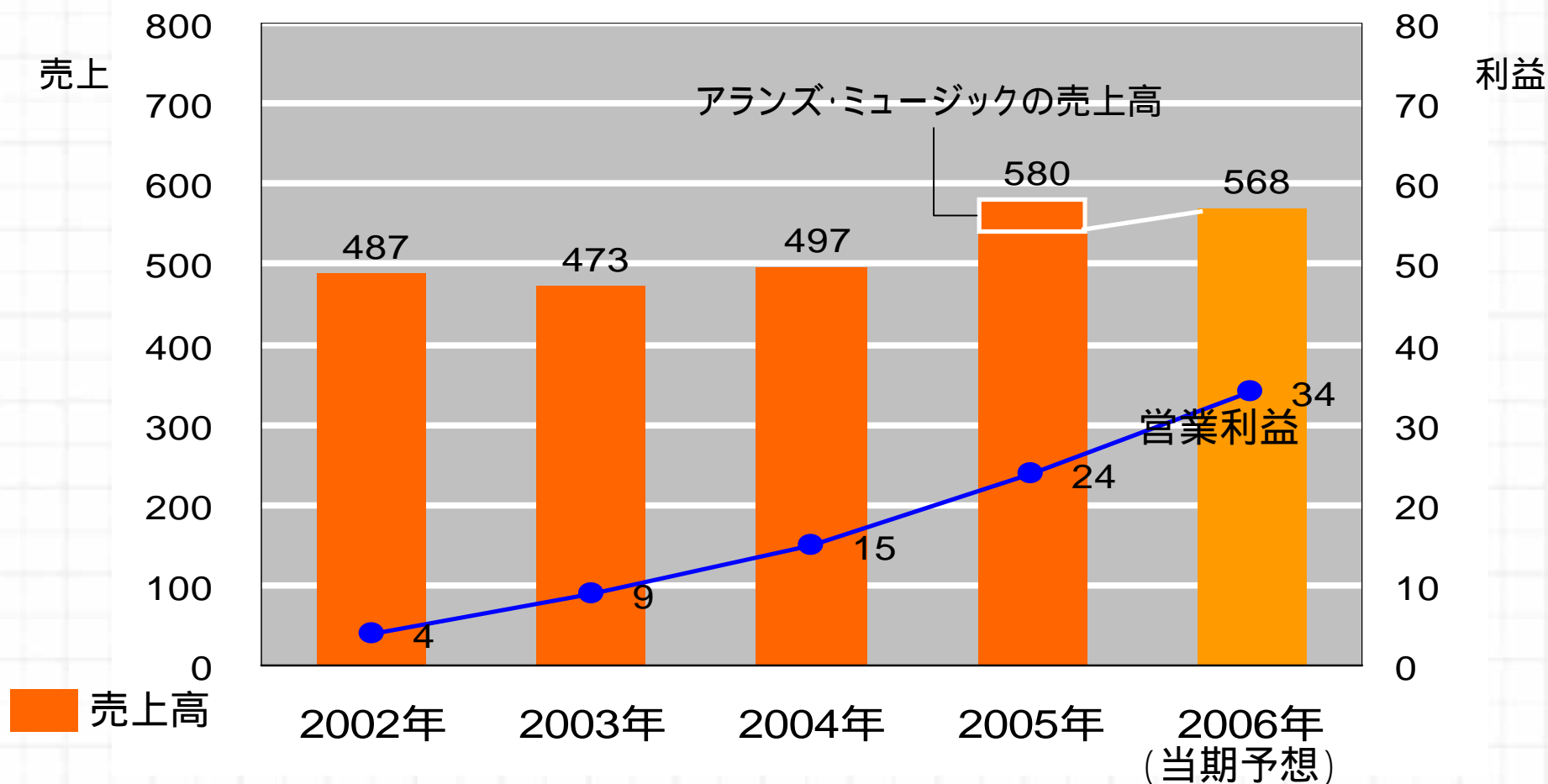
デジタル屋台が最大限の効果を発揮
できる建物設計

当期(2007年3月期)の見通し

電子楽器事業

(単位:億円)

豪州子会社アランズ・ミュージックを営業譲渡に伴い連結除外
同社売上高約40億円の減収影響あるが、利益に与える影響は軽微
積極的な新製品投入により、実質的には増収、増益予想

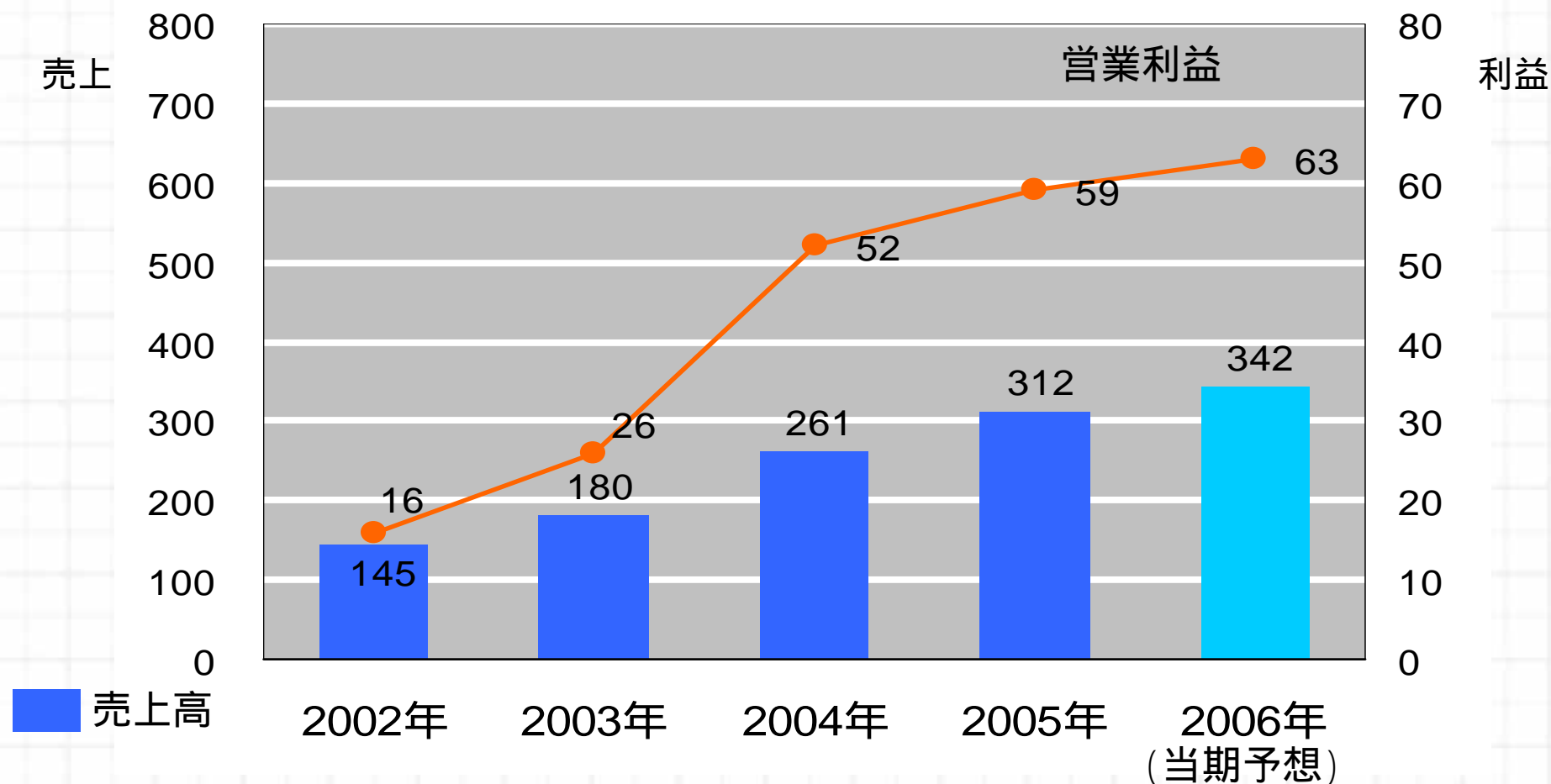


コンピュータ周辺機器事業

(単位:億円)

他社参入による競争激化を予想

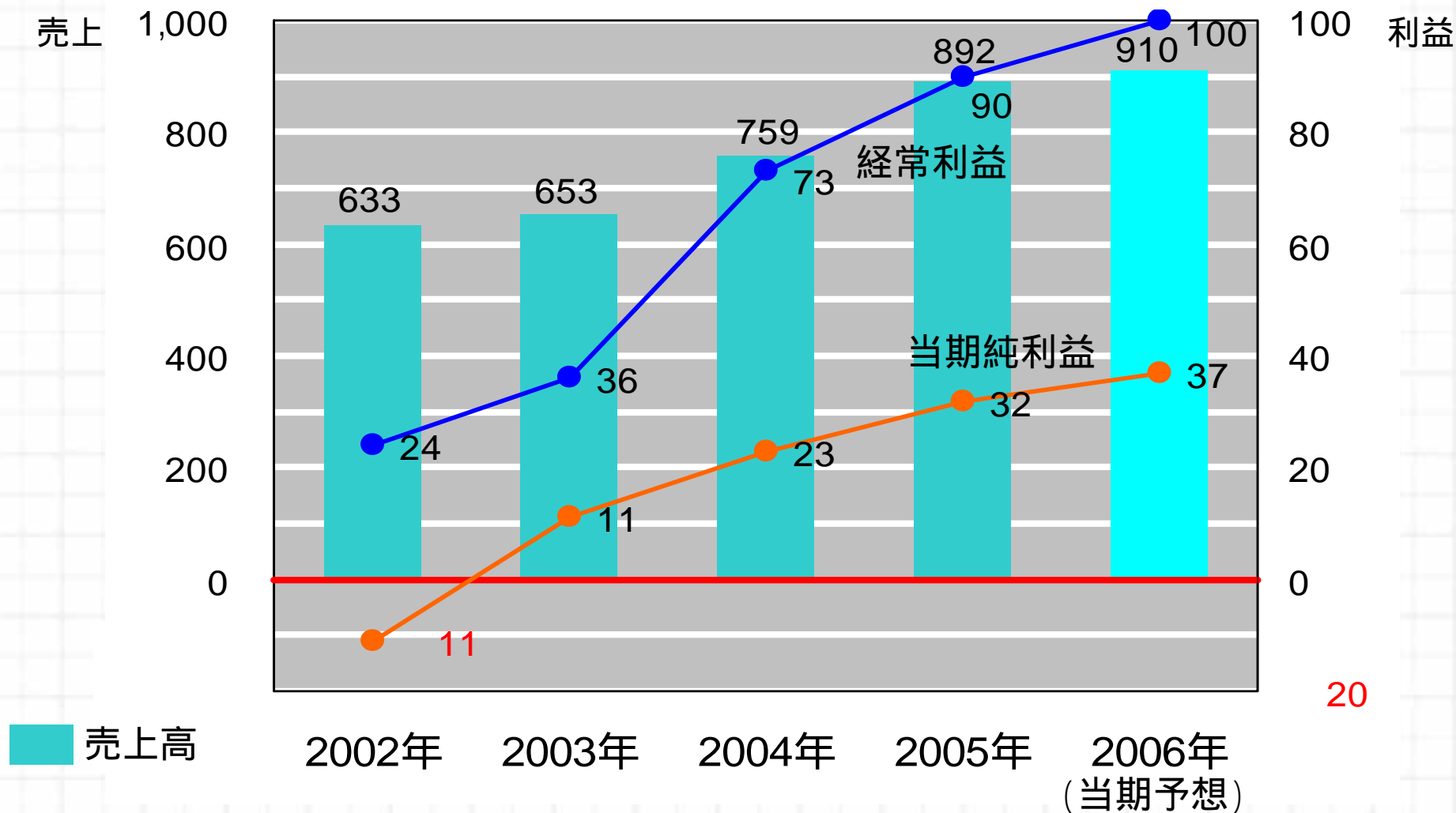
海外販売網や新工場など、前期に整えた事業インフラを活用し、増収、増益予想



連結決算

(単位: 億円)

売上高、経常利益について過去最高を見込む

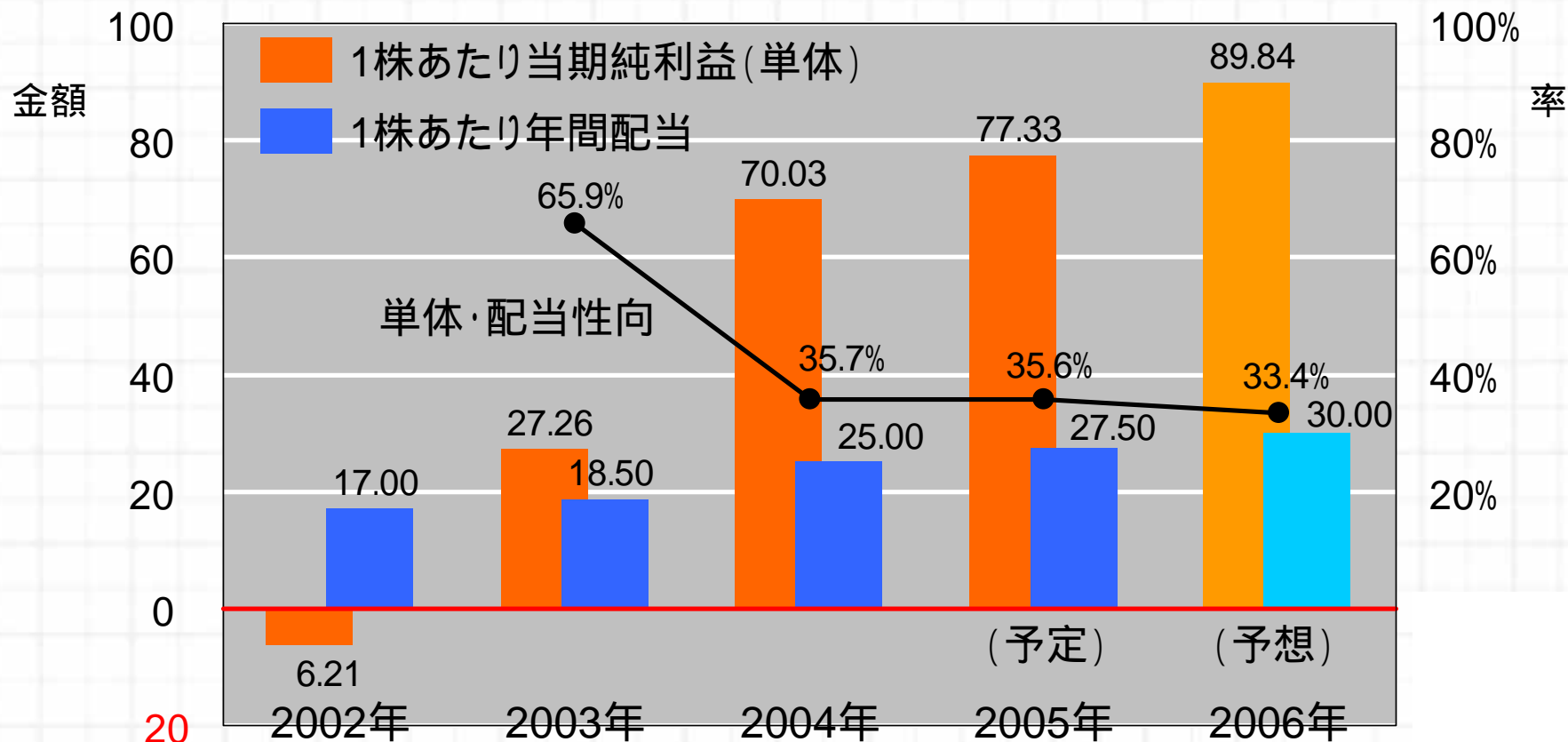


利益配分に関する基本方針

(単位:円)

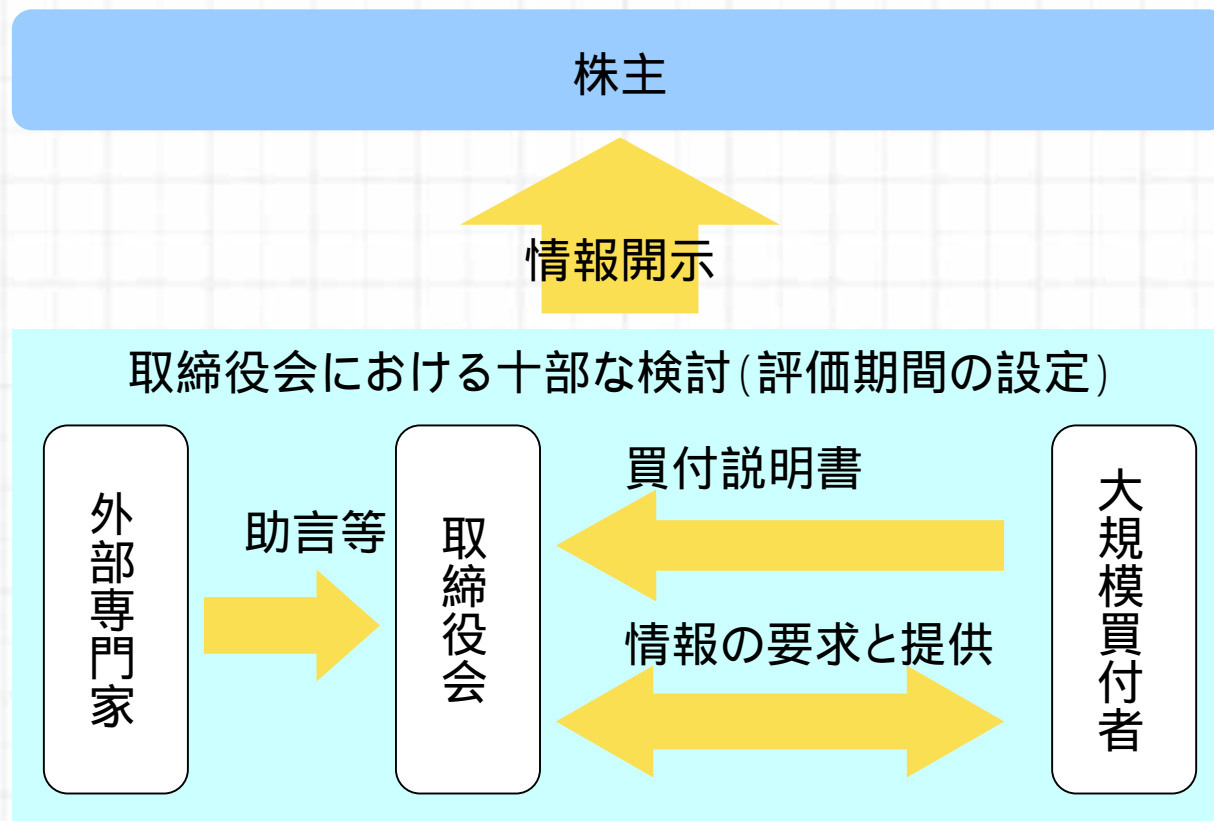
新たな成長につながる戦略投資に必要な内部留保を確保すると同時に、株主への利益還元を積極的にすすめる

従来からの安定配当に加え、業績に応じた適正な利益還元を実施するため、単体での配当性向30%以上、もしくは1株あたり20円以上を目標とする



買収防衛策の導入

大規模買付ルールのフレーム



大規模買付
議決権割合が20%以上
となる買付行為

事前に「大規模買付ルール」を定め、大規模買付者に事前の情報提供を要請し、企業価値を高めることができるかどうかについては最終的に株主の判断に委ねる

当社株主の皆様には大規模買付者からの情報を吟味して判断をおこなう猶予ができるため、買収防衛策を導入するメリットは大きい

ルールが遵守されない場合、および当社の企業価値を著しく毀損することが明白な場合には、買収に対する対抗処置を発動



ローランド企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう

BIGGESTよりBESTになろう

共感を呼ぶ企業にしよう

当資料に記載されている情報の中には、「将来の見通しに関する記述」が含まれている場合がありますが、これら情報は、作成時点において入手可能な情報に基づき作成しております。

経済情勢や市場動向の変化などにより、将来の見通しが実際の業績と異なる可能性があります。当社の業績、企業価値等を検討される際には、これらの見通しに全面的に依拠することは避けていただきますようお願い申し上げます。